

生活習慣病予備群の非肥満者対策を重視 —非肥満のリスク保有者に対する保健事業— (人材派遣健康保険組合)

○取り組みの背景および目的

人材派遣健康保険組合の被保険者1人当たりの医療給付費は年々増加傾向（年4.5%増）にあり、被保険者の平均年齢の上昇（10年前は32歳であったが、現在は37.5歳）とともに、特に40歳以上の生活習慣病に係る医療費の割合が着実に伸びている。

これまで「特定健診・特定保健指導」を実施してきたが、当健保組合の特徴として、被保険者のうち80.4%が女性であり、肥満の対象者が全体の20%と少ないため、特定保健指導の対象者も少ない（図1）。しかし、平成21年度時点で40歳以上かつ生活習慣病が未発症、あるいは基礎疾患のみを発症していた者（計51,218人）のうち1,438人が重症化し、5億円超の医療費が発生している。そのため、中期的な医療費抑制のためにも、特定保健指導対象者に加え、非肥満でもリスクのある者に対する「生活習慣病の発症予防や重症化予防」の新たな取り組みが必要であると考えた（別添1）。

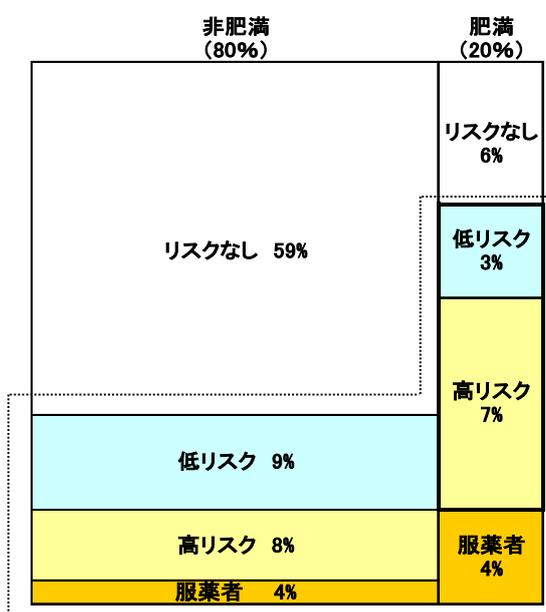


図1. 健康分布図*

○取り組みの内容

実施時期

- ・平成24年12月開始（～約半年間経過）

実施概要

健診結果データおよびレセプトデータを突合分析し、医学的な見地からより介入効果の高い対象者を抽出し、以下6つの区分毎に分けて対象者へオリジナルシートを送付する（別添2, 3）。その後、特にリスクの高い方に関しては、通知後に委託先の保健師から直接、電話による保健指導を行う（表1）。

なお、電話による保健指導は、派遣スタッフの特性（派遣先での就業のため、勤務中に指導を受けることが難しい）に配慮し、土曜・平日夜間を中心にしたアプローチを行っている。

【事例15】

表1. 対象者区分

	肥満		非肥満	
	受診なし	受診あり	受診なし	受診あり
中リスク	①	対象外	⑤	対象外
高リスク	②	④	⑥	④
超高リスク	③		③	

※血糖・血圧・脂質に加え、肝機能（ γ -GTP等）や腎機能（尿蛋白等）の検査値のリスク、レセプトの受診内容（疾病名・調剤薬効等）から、独自のリスク基準を設けている。

①～⑥：検査結果やアドバイスを明記したオリジナルシートを送付

①②：特定保健指導

③超高リスク：受診勧奨と保健指導

- ・生活習慣（食事、運動、喫煙等）のヒアリングと、その方に合った改善に向けたアドバイス
- ・早急に受診（治療）することをご案内

④超高リスク：受診、服薬状況の確認と保健指導

- ・医師の指示に基づき処方された薬を飲んでいるか（用量・用法等）
- ・生活習慣（食事、運動、喫煙等）のヒアリングと、その方に合った改善に向けたアドバイス

⑤中リスク：（オリジナルシートを送付のみ）

⑥高リスク：再検査の受診案内と保健指導

- ・生活習慣（食事、運動、喫煙等）のヒアリングと、その方に合った改善に向けたアドバイス
- ・再検査受診のご案内

分析および保健事業の実施については、以下の事業者を活用。

- ・株式会社ミナケア（レセプト、健診データの突合分析および対象者抽出）

対象者の抽出は、レセプト（診療状況・服薬等）の実態と健診データを活用して正確な状況を把握し、保健指導により改善が見込まれる対象者の選定を実施している。

- ・株式会社法研（情報提供、受診勧奨等通知および保健指導）

通知および保健指導について、特にハイリスク者（近いうちに重症化の可能性大）に関しては、受診勧奨等通知の後に、医療専門職から直接フォロー（主に電話）を行う。その際、派遣スタッフという特性を踏まえたアプローチのタイミングの必要性を考慮。

○効果

医療費抑制効果（目標）

3カ年での重症疾患発症予防等により、数億円の医療費節減を目標としている。

※今年度秋頃に、第一次効果検証を実施予定。

【事例15】

〔重症化の事例〕 超高リスク③（50代男性）

平成24年度中に健診を受診。数年来、高血圧及び肝機能の検査結果が重症域であったが、痩せ型であるため特定保健指導の対象とはならず、医療機関への受診もなし。

その3ヵ月後に、高血圧を主要因とする「脳内出血」を発症し、半身麻痺の後遺症も残り、現在もリハビリ入院中。毎月約100万円の医療費（現物給付）がかかっている。（※高血圧疾患の通院で済んでいれば、年20万円程度）

⇒重症疾患を発症した本人の負担、労働者休業に伴う事業主の負担、健保組合の医療費負担と、重症疾患は三者にとって多大な負担となる。当事業は、こうした事例を発生させないよう取り組むものである。

○費用および財源

年間2,600万円（疾病予防費予算から支出）

- ・レセプトデータ・健診結果データ（約400万件/年）の突合分析、対象者選定、情報提供通知出力・封入・封緘・発送（約1万件/年）、保健指導（架電・受電）
- ・通知送料200万円を含む

○事業評価

問題点や苦勞した点

健診・レセプトデータの作成と管理にあたり、データ量（被保険者数）の多さだけでなく、被保険者資格の取得喪失の多さや在籍期間（2年連続在籍者を抽出する等）も考慮して、運用している。健診・レセプトデータの突合分析（委託）にあたり、人材ビジネスという業界の特性上、事業主が個人情報に対してセンシティブになっている点を配慮し、個人情報を加工して（保険証の記号番号を独自IDに置き換え、受診者名を空白にする等のデータ加工を行う）、委託を行っている。

継続、改善点

個別のレベルではあるが、特に超高リスク者への受診勧奨に効果が見られる（通知と電話フォローにてようやく医療機関を受診したケースあり）。

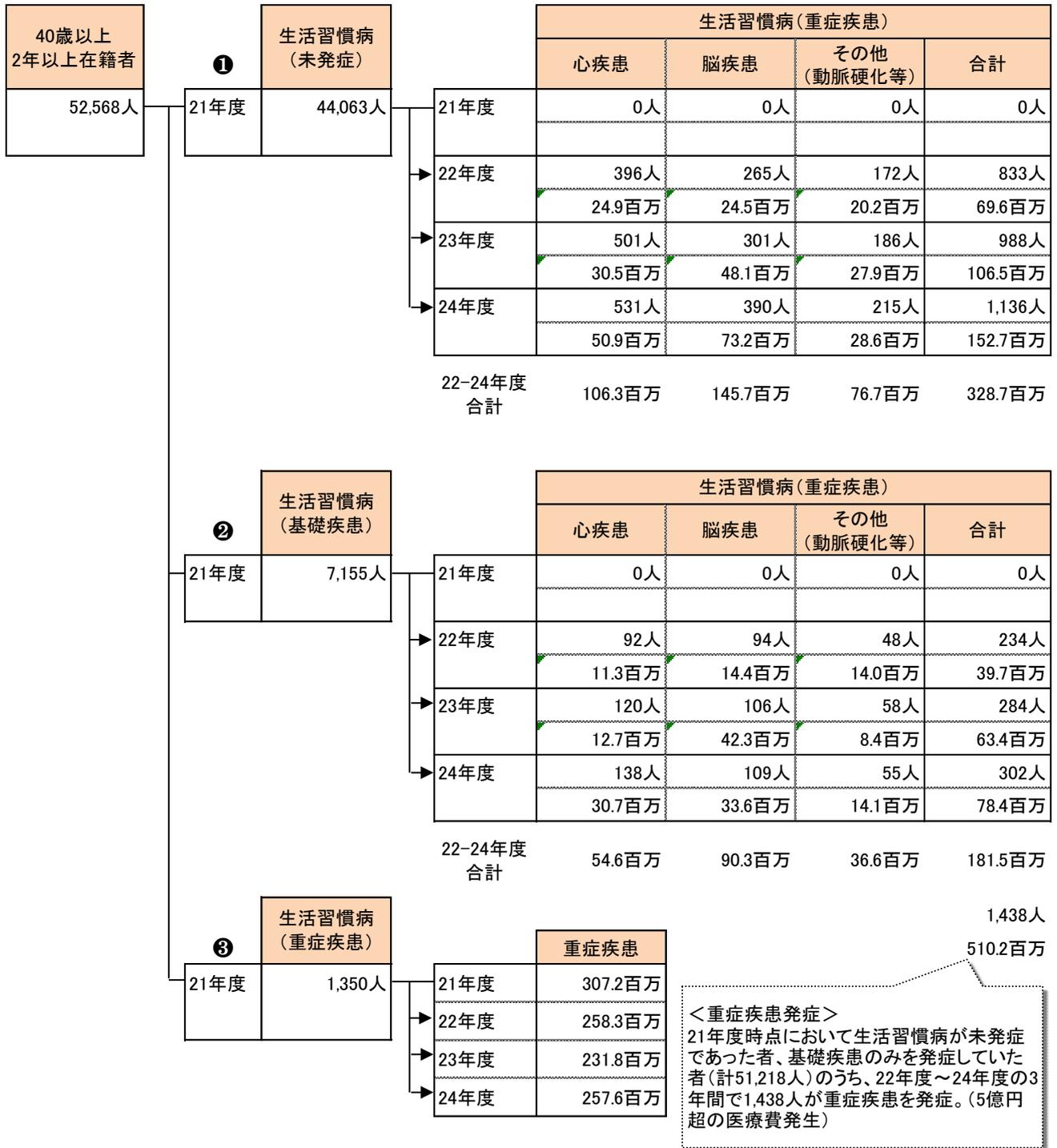
今後は、通知および電話フォローによる保健指導の有効性（費用対効果）を検証していく。この取り組みを継続して行うとともに、来年度からは対象年齢を35歳以上まで拡げる予定。

○健保組合情報

- ・被保険者数（平成25年5月末現在）：328,011名（男性19.6%、女性80.4%）（平均年齢37.5歳）
- ・加入者数（平成25年5月末現在）：382,950名
- ・事業所数（平成25年5月末現在）：311（273社）
- ・保険料率（平成25年3月末現在）：86%
- ・経常支出合計（平成24年度決算）：約796億円（うち保健事業費：2.2% 約18億円）
- ・業態：人材派遣業

【事例15】

別添1. 当健保組合の40歳以上加入者(2年以上在籍者)に係る生活習慣病(重症疾患)の発生状況



別添3. オリジナルシート（高リスク者用）

〒112-0013
東京都文京区音羽 2-10-2
音羽 NS ビル
派遣 太郎 様

平成 24 年 12 月 1 日
人材派遣健康保険組合

精密検査及び生活習慣改善のご案内

平素は当組合の健康事業運営にあたり、格別のご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。
このご案内は、先に受けられた特定健診の結果に基づき、「メタボリックシンドローム（予備群）」ではないものの、検査値や問診等から生活習慣病のリスクがあり、精密検査や生活習慣改善が急務」な方にお届けしています。

※この通知では記載している検査項目のみで「精密検査（受診勧奨）」を案内しています。
健診機関からの結果通知等で「再検査・精密検査」等の指示があった方は、その指示に従って対応してください。

この通知の到着後のフォローとして、必要に応じて、およそ1～3週間後に改めて保健師から「受診のご案内（受診の確認）」と「生活習慣改善のアドバイス」等の内容の電話を差し上げます。

皆様健康診断をきっかけにご自身の健康を振り返り、よりよい生活習慣へとチャレンジすることで、これらも健やかに過ごしていただく事を願ってやみません。

次のページから
「あなたの健診結果」と
「アドバイス」を
掲載しています

お問い合わせ先
人材派遣健康保険組合 健康管理センター TEL 0120-361-340
平日 12:00～19:30 土曜日 9:30～16:30（年末年始 12/28～1/5、日曜・祝日は除く）
今後の通知に関する詳細は、健診に際してあります。

個人情報は共有関係の範囲内において
組合で健康診断等に関する業務の遂行に際し、業務上必要となる健康診断等の結果は、当組合の健康事業運営に必要と認められる範囲内において、関係機関等に提供させていただきます。
なお、個人情報を第三者に提供し、個人情報を不正に利用して個人を識別する目的で、事業主と健康保険組合が共同で健康診断結果を共有して業務遂行に利用する場合は、健康診断結果の共有に関する同意書（健康診断結果の共有に関する同意書）を提出していただく必要があります。
同意書は、健康診断結果の共有に関する同意書（健康診断結果の共有に関する同意書）を提出していただく必要があります。
同意書は、健康診断結果の共有に関する同意書（健康診断結果の共有に関する同意書）を提出していただく必要があります。

医師の診断を受ける必要があります。
必ず受診して、からだの状態を診てもらってください。
治療が必要な場合は、すぐに治療を始めましょう。

健診結果

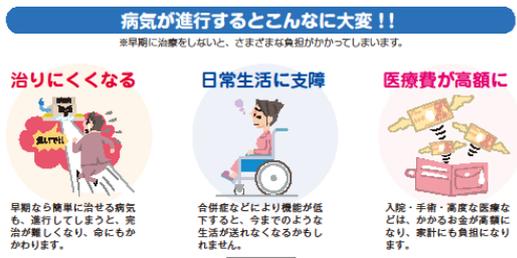
検査項目	H23.10.10	H24.9.1	あなたの位置は…		
			保健指導判定値	受診勧奨・要治療域	重症域
計測					
年齢	80	84	男65歳～ 女90歳～	-	-
体重	67.4	73.5	-	-	-
BMI*	22	24	25～	-	-
血圧	118	150	130～	140～★	160～
	76	90	85～	90～★	100～
中性脂肪	128	134	150～	300～	-
HDLコレステロール*	40	40	～39	～34	-
LDLコレステロール*	110	120	120～★	140～	180～
空腹時血糖	138	152	100～	126～★	200～
ヘモグロビンA1c**	6.2	7.2	5.2～	6.1～★	8～
AST(GOT)	15	18	31～	51～	-
ALT(GPT)	17	20	31～	51～	-
γGT(γGTP)	27	35	51～	101～	-
赤血球数	435	435	-	男～359,600～ 女～329,550～	-
血色素	15.8	15.8	男～13 女～12	男～12 女～11	-
尿蛋白	(-)	(-)	-	(+)	-
喫煙	吸わない	吸う	-	-	-

※加入事業主（労働者）が定めた場合や、健診機関からの結果が異なる場合、当事業主の健康診断結果と異なる場合があります。
※BMIとは体重を身長で割った値のことです。BMIの値は、体格指数（BMI）とも呼ばれます。
※LDLコレステロールとは血液中の脂質で、動脈硬化の原因となります。LDLコレステロールは、LDLコレステロールと略されます。
※HDLコレステロールとは血液中の脂質で、動脈硬化の原因となります。HDLコレステロールは、HDLコレステロールと略されます。
※ヘモグロビンA1cとは血糖値を4～6ヶ月間の血糖値のコントロールの割合を示します。平成24年4月1日現在の健診結果の保健指導判定値は、5.6%以上となります。

次のページに
あなたへの
アドバイスが
あります

検査結果が基準値を超えています！
精密検査を受けましょう！
今ならまだ間に合います、生活習慣を見直しましょう。

健診の結果、「異常の疑い」を判定しています。「精密検査が必要」という結果でも、必ずしも病気であるとは限りません。病気かどうか、治療が必要かどうかの正しい判断をするために、必ず診察を受けてください。



当組合はあなたの検査結果が心配です。
当組合の健康管理センターの保健師が電話をします。
体調や受診状況について一緒に考えましょう。

「生活習慣を
見直しても少額!?」
いえ、今ならまだ
間に合います！
生活習慣病の改善方法は
次のページに
あります。

病気になるお金はとても高額です！

高血圧を放置しておくと… 1,600,000円
糖尿病を放置しておくと… 2,400,000円
脳卒中を放置しておくと… 5,000,000円

今すぐ改めよう！内臓脂肪がたまる悪習慣

こんな生活習慣に思い当たったら… こうするよう心がけましょう

食生活

- 朝食を抜く → カロリーを減らす (1日3食、規則正しく食べる。標準体重 < 30kg)
- 食事時間が不規則で、外食も多い → 1日3食、規則正しく食べる。標準体重 < 30kg
- 味の濃いものが好き → 1日の塩分10g未満に、塩類の量は減らす。調味料はかけず小皿に少量をとる、など減塩の工夫をする
- 野菜は苦手もしくはあまり食べない → 野菜を1日350g以上食べよう (目安は小鉢2杯分) 1/3は緑黄色野菜にする
- 食べられない人は野菜ジュースや海藻類をとる

運動

- からだを動かすのが苦手 → カロリーを減らす (1日3食、規則正しく食べる。標準体重 < 30kg)
- 仕事はデスクワークが中心だ → 1日の塩分10g未満に、塩類の量は減らす。調味料はかけず小皿に少量をとる、など減塩の工夫をする
- 休んで運動する時間がない → 歩くときは速歩を守り、週2日は休日を設ける (ビール500ml、焼酎1合、ウイスキー又はフロンテアール1杯、焼酎(25度)30ml、ワイン(赤)1杯(15度)を飲む)

タバコ

- タバコを吸う → カロリーを減らす (1日3食、規則正しく食べる。標準体重 < 30kg)

年に一度の健康診断を受けて健康的な生活習慣を！

健診をきちんと受診せず、重大病気になるってしまったあとでは、健康的なからだを取り戻すことは非常に困難です。また、みなさま自身の健康も損ない、さらには家族の財政破綻にもつながります。健診の受診は、皆さまに提供する健康サービスの低下にもつながり、皆様へと返ります。

病院で、治療が必要かどうか診察を受けましょう！

私たちが健康保険組合はあなたのからだを健康になるようサポートします。